

ロシア軍におけるウクライナへの武力侵攻に対する声明

2022（令和4）年2月24日からの、ロシア軍におけるウクライナへの武力侵攻は、いのちの尊厳をふみにじる行為であり、断固として反対いたします。

私たち浄土真宗の門徒は、仏説無量寿経にある「兵戈無用」のお言葉を頂戴し、「世のなか安穏なれ」と願われた親鸞聖人の「南無阿弥陀仏」のお念仏をいただいています。そして、すべての人びとが『自他ともに心豊かに生きることのできる社会「御同朋の社会」』をめざして、あゆみをすすめています。

このたびのロシア軍におけるウクライナへの武力侵攻に対し、浄土真宗のみ教えをもとに生きる「念仏者」として、深い哀しみと強い憤りを覚えます。

私たち門徒総代は、武力侵攻の即時停止を求めると共に、ウクライナに一刻も早く平和が訪れるよう、ここに力強く立ち上がります。

合 掌

2022（令和4）年3月17日

浄土真宗本願寺派 全国門徒総代会